「台湾有事」を起こさせない・沖縄対話プロジェクト
2022 - 2023

第一回
沖縄・台湾対話シンポジウム

OKINAWA　TAIWAN

台湾を戦場にしてはならない
沖縄を戦場にしてはならない

2023年2月12日（日）
沖縄タイムスホール
13時30分～16時30分
（開場13時）
入場料:５００円

【呼びかけ人】（五十音順、2022年9月20日現在）
新川明（元沖縄タイムス社長）｜泉川友樹（沖縄大学地域研究所特別研究員）
上里賢一（琉球大学名誉教授）｜岡田充（ジャーナリスト）
岡本厚（前岩波書店社長）｜我部政明（琉球大学名誉教授）
神谷美由希（ゼロエミッションラボ沖縄共同代表）｜高嶺朝一（元琉球新報社長）
谷山博史（日本国際ボランティアセンター（JVC）前代表理事）
玉城愛（元オール沖縄会議共同代表）｜本田善彦（ジャーナリスト、台湾在住）
前泊博盛（沖縄国際大学教授）｜元山仁士郎（元「辺野古」県民投票の会代表）
与那覇恵子（元名桜大学教授）
主催：「台湾有事」を起こさせない・沖縄対話プロジェクト｜沖縄タイムス社
後援：琉球新報社　助成：庭野平和財団｜大竹財団

第一回　沖縄・台湾対話シンポジウム

昨年１２月岸田政権は「安保関連３文書」を発表、国会討議も無く国民の声も聞かず、戦後安保政策の根本的転換を決定しました。「安保大転換　沖縄最前線」（琉球新報１２月１７日）翌日の新聞見出しです。「台湾有事」（台湾をめぐる日米と中国の武力衝突）が起これば、沖縄が最前線におかれ戦場となりますが、その沖縄の声さえ日本政府は聞こうともしません。「沖縄対話プロジェクト」は、対話によって戦争を回避する試みです。第一回は、「起こされる」戦争によって犠牲者に「させられる」台湾と沖縄との対話です。どのように「台湾有事」による戦争を避け、人々の命を守れるのか？台湾、沖縄から立場や考えの違う人達が集い、次の２点について対話します。

「台湾有事」とは何か？

「台湾有事」を起こさせないために何ができるか、何をすべきか？

イベント詳細

《総合司会》元山仁士郎／元「辺野古」県民投票の会代表・本プロジェクト呼びかけ人

- **開会挨拶**・・・・我部政明／琉球大学名誉教授・本プロジェクト共同代表
- **発足集会報告**・・与那覇恵子／元名桜大学教授・本プロジェクト共同代表
- **基調講演**・・・・稲嶺恵一／元沖縄県知事

保守も革新も
老いも若きも
国籍も関係ない

≪経歴≫
元沖縄県知事。現株式会社りゅうせき参与。１９３３年生まれ。りゅうせき社長、会長、沖縄県経営者協会会長、沖縄セルラー電話株式会社社長、日本トランスオーシャン航空株式会社会長、りゅうせき会長などを歴任。１９９８から沖縄県知事を２期務める。著書に「稲嶺恵一回顧録　我以外皆我が師」（2011年・琉球新報社）、「沖縄の自立と日本:復帰40年の問いかけ」（2011年・岩波書店）など。

≪講演内容≫
知事、経営者としての経験から、中国・台湾の現状をどう見ているか。「台湾有事」を避けるためにどうしたらいいか、など。

- **対話セッション**

コーディネーター
前泊博盛
沖縄国際大学教授
本プロジェクト共同代表

林彦宏
財団法人国防安全研究院
国防戦略與政策研究所
助理研究員

何思慎
天主教輔仁大学教授

高嶺朝一
元琉球新報社長
本プロジェクト呼びかけ人

山本章子
琉球大学准教授

神谷美由希
ゼロエミッションラボ
沖縄共同代表
本プロジェクト呼びかけ人

- **コメント**・・・・岡田充／ジャーナリスト・本プロジェクト呼びかけ人
  本田善彦／ジャーナリスト・本プロジェクト呼びかけ人
  宮城栄作／沖縄タイムス編集局長
- **閉会挨拶**・・・・上里賢一／琉球大学名誉教授・本プロジェクト呼びかけ人

2023年2月12日（日）
開演：13時30分～16時30分（開場13時）
会場：沖縄タイムスホール
沖縄県那覇市久茂地2-2-2　3F
入場料：500円（資料代込み）

◆予約不要・先着３５０名
◆オンライン配信予定
＊当日のオンライン参加の情報は⇒のWEBサイトにアクセスしてください。
当会HP
＊沖縄タイムスホールの駐車場は使えません。

主催：「台湾有事」を起こさせない・沖縄対話プロジェクト／沖縄タイムス社
後援：琉球新報社　助成：庭野平和財団／大竹財団
taniyama@ngo-jvc.net（谷山）、okamoto1954@yahoo.ne.jp（岡本）
Tel:080-3999-2388（沖縄対話プロジェクト）